

TIME SCENE

別冊 Goods Press
世界の本格腕時計
グッドズプレス特別編集
TOKUMA SHOTEN
定価 1300円

真説 パネライ

その真髄を求めて巡る
ニューシャテル、フィレンツェ、
ラスベッツィア物語

IWC PROBUS SCAFUSIA

フローブス・スカフージア
……時に刻まれた
シャフハウゼン流時計作り哲学

ショパール

L.U.C キャリバー誕生
10周年を記念する
新型クロノグラフ登場

オリス

デザイン・コンシャスこそ
オリス流時計作りの基本

ピエール ドゥ ロツシュ

名門工房デュボア・デブラの
血脈が生んだ
奇威の新鋭時計会社

ラ・ジュウ・ペレ

ついに全容を明らかにした
ムーブメント開発・製作会社の雄

2006-2007

厳選時計
コレクション・カタログ



VOL. 8

2007

本格腕時計の復権



カレラ キャリバー360
ローズゴールド限定モデル
189万円

専用の脱進機によって1/100秒を計測する特別なコンセプト・クロノグラフがついに販売開始。限定生産500本。SSモデルは79万8000円。18KRGケース、自動巻き+手巻き(Cal.360)、ケース径41mm



リンク自動巻
スモールセコンド
24万1500円

リンクシリーズ初のスモールセコンド・モデル。文字盤にはトレンドカラーのブラウンを採用。シリーズバック仕様になっているが、これもリンク初である。SSケース、自動巻き(Cal.6)、ケース径39mm



ニューアクアレーサー
自動巻 クロノグラフ
26万2500円

ニューアクアレーサーシリーズ初のデイトモデルで、サイズを従来よりも2mmアップさせた。300m防水の本格ダイバースなだけに、ケースの作りは肉厚。SSケース、自動巻き(Cal.16)、ケース径43mm

TAG HEUER

タグ・ホイヤー

複雑クロノグラフを市販化。スポーティさに磨きをかけるタグ・ホイヤーの戦略

昨年発表された「キャリバー360 コンセプト クロノグラフ」がついに発売。特殊機構を市販化させた英断には拍手を送りたい。通常のシリーズは、エンジニアリング、モーターレーシング、グラマラスというコンセプトで時計を製作。価格、デザイン、機構のバランスの優れたモデルが多数リリースされた。©LVMHウォッチ・ジュエリー ジャパン タグ・ホイヤー ディヴィジ ヨン ☎03-3613-3951

SPEAKER-MARIN

スピーク・マリノ

サーベント カレンダー
ホワイトエナメルダイヤル
168万円

美しいエナメル文字盤をもつポインターカレンダーモデル。「サーベント」とは蛇のような針のこと。シンプルを作りだが、細部まで心血が注がれている。SSケース、自動巻き、ケース径38mm



ピカデリー
フロステッドダイヤル
168万円

ピカデリーの3針モデル。18KWG製の文字盤の中心をフロスト加工してデザインに工夫を凝らす。ムーブメントはソプロード社でカスタムし、自社で徹底的に仕上げている。SSケース、自動巻き、ケース径38mm



噂の独立時計師が
手掛けるブランドが、
いよいよ日本で本格始動

ハリー・ウィンストンとの競作「プロジェクトZ3」が話題の独立時計師ピーター・スピーク・マリノが立ち上げたブランド。今年から本格的に日本で展開される。シンプルな「ピカデリー」が人気だが、永久カレンダーなどの複雑系もラインナップする。©東邦時計 ☎03-5807-8162

THOMAS PRESCHER

トーマス・プレッシャー

美しい彫金と
凝った機構の
ユニークピース

2004年に世界初の3軸トゥールビヨンを発表し、多軸トゥールビヨンの先鞭となった、ドイツの独立時計師トーマス・プレッシャー。彼の作品がついに日本に上陸した。「テンプス・ヴィ・ベンディ」シリーズを中心に魅惑的な時計を味わいたい。©ユーロパッション ☎03-5295-0411

ザ・ドラゴン
588万円

正面から見て左後ろ足の先端で時針を、右後ろ足の先端で分針を示すレトログラードウォッチ。精緻に作り込まれた18KWG製のドラゴンのレリーフも、じっくり鑑賞したい。18KWGケース、自動巻き、ケース径42mm



ザ・サムライ
588万円

日本史に精通したプレッシャー氏が作り上げた、剣豪宮本武蔵の時計。プッシュボタンを押すと二刀流を空にかかげてポーズを決め、もう一度押すと時刻表示に戻る。18KWGケース、自動巻き、ケース径42mm



Peter Speake-Marin

ピーター・スピーク・マリン

〔独立時計師〕

「これまでは少年期。ここから大人の段階に入っていく」
正式上陸を果たしたピーターの決意。

Photo: Kazuyuki Takahashi (PACO)
Report&Text: Masaharu Nabata

SPEAKE-MARIN

INDEPENDENT & ORIGINAL WATCHMAKING



3

年前。大阪の旭時計店の招きで来日し、我が国の時計ファンへ紹介されたピーター・スピーク・マリン。先頃、東邦時計と代理店契約を結び、本格的な販売がスタートした。

「3年前は最初のピカデリー・コレクシオンを発表したばかりだったけど、今ではモデルも増えた。シンプルなもの、永久カレンダー、トゥールビヨン。日本の顧客からの注文で「本針のシモタ」も作ったし、市場の要求に応じて直径42mmのモデルも開発した。でも、これまでは少年期。ピーター・スピーク・マリンは、ここから大人の段階に入り成熟していくはずだ。というのも代理店契約を結んだのは日本が初めて。他に3カ国からオファーがあるけど、

1968年、英国生まれ。ロンドンの技術学校を卒業後、アンティーク時計店などの勤務を経て、'96年、ルノー・エ・バビに入社。2000年に独立し、オリジナル・ウォッチの製作をスタートさせる

ひとつずつポジションを確立していきたい。そもそも生産能力が限られているから確実に納品するためには、まず世界各国にあるいくつかの小売店と日本の代理店への本数を確保し、それから次に進みたい」

ピーターが説明するように、日本以外にもアメリカ、スペイン、ロンドン、パリ、スイス、オーストリア、シンガポール、バングコク、台湾などに小売店があり、ファンも着実に増えてきた。

「ほとんど宣伝をしてないけど、口コミとインターネットで評判が伝わり、時計を購入入してくれるんだ。アメリカではシリコンバレーに販売店があつて、そこにはコンピュータ関係の顧客が多い。ひとりでは時計を6本持っている人もいる。しかも彼はスチールのモデルしか買わない。どんな複雑時計でも必ずスチール。マッキントッシュの関係者だけど、ステイブ・ジョブズ（アップルC.E.O.）じゃないからね」

独立時計師として次のステップへ向かうピーター。そのビジョンとは？
「今後は、新型の42mmのラインを充実させていきたい。実は次のプロジェクトが、ほ



ピーターの代表作「ピカデリー」には直径38mmと直径42mmのモデルがある。サーベント・カレンダー42mm(168万円。左)、ホワイト・エナメル文字盤ローマ数字(136万5000円。右)。共にSS。東邦時計☎03-5807-8162

ぼ完了しているけど、公表すると自分自身にプレッシャーがかかるから、まだ発表はしたくない。多分、次回のバーゼルで発表できると思うけどね。

でも、こんなことを聞くのは日本とシンガポールぐらいだよ。スイスでは独立時計師のことを知っている人なんてまずいない。業界人でも、フイリッパ・デユフォー？誰それ？なんて感じた。でも、おもしろいことに、大手と取り引きしていたサブライヤーが、部品製造が国外にシフトしたことで仕事を失い始めている。だから僕みたいな独立時計師が部品を注文しても受けてくれない、良質な部品が手に入る。ただし、特殊な歯車を10セットだけ欲しいといつてもちよつと無理。仕方ないから、こういうものは自分で作るしかないね」

実は今、ピーターは自分専用のキャリアパスの開発を模索中。またルノー・エ・バビ時代の同僚だった日本人時計師・長沢拓夫氏が最近、ピーターの工房で働くことに決まったという。こうして着実に階段を上り始めたピーター・スピーク・マリン。今後も我々は、彼の動向に注目していきたい。